

よみがえれ！ 侵略者 INTRUDER

約10年の眠りを覚ますべく、またがってみた我が愛車。各部は愕然とするほど劣化し、特にパワーダウンは想像以上に進んでいた。ここは早々に見切りをつけるべきか？ いやいや、まだいけるはず！ 話題のケミカル剤を使った復活プログラムで、22年落ちアメリカンの再生を試みた。

report ● 本誌・土田 photo ● 真弓悟史
 ②ニューテックジャパン ☎045-628-2055 <http://nutec.jp/>



step 1

●まずはキャブをNC-120（キャブクリーナー）で洗浄。バラさなくてもドレンチューブから逆流させて注入できる

コンディション
 ●車両は1987年型 スズキ VS750イントルuder（意味は「侵略者」ね）。走行距離1万1500km。新車時からナンバーを切らしたこともなく、車検も継続して取得。10年近く足が遠のいていたが、エンジンは2週間に一度くらいのペースでかけていたため、完全に不動というわけではない。埼玉から神奈川までの自走も問題なく、「意外にイケるんじゃないの？」と思われたのだが……



やはりバラバラの圧縮
 ●作業前に両気筒の圧縮を計ってみると、前127kpa、後ろ145kpaと表示。極端に数値の差があるのはなぜだ？

step 2



●約30分の放置後、コンプレッサーを使って抜き取った液体。中には大量のカーボンドストが！



●NC-900RCR（リムーバー）を筒内に直接噴射し、こびりついたカーボンを溶かして浮かせる



今回使ったケミカルアイテム
 ●左から「NC-202 圧縮圧力回復剤（60ml）」6300円、「NC-120 キャブ&インジェクションクリーナー（480ml）」1890円、「NC-900RCR カーボンリムーバー（480ml）」6468円 ※店頭施工専用用品となる
 いざオーバーホール（OH）となると、程度にもよるが10万〜20万円は覚悟しなければならぬだろう。パワーアッププログラムの場合、今回作業をお願いした秋葉モーターサイクルでは、ケミカル剤と工賃込みで4万5000円から、リッタークラスで5万〜6万円ほど（要問い合わせ）。これでOHと同等の効果を得られれば決して高い出費ではない。作業はつきっきりで半日以上かかるため、要予約&車両預けでの依頼となる。

鼓動を取り戻したVツイン

四輪からMC編集部へ異動してきてから半年。「バイクを持たない二輪誌編集部員」の異名をとっていた私であったが……、ついに隠しダマを投入する時がやってきたらしい。このVS750は父親から譲り受け、学生のころは大学までの足として乗っていたもの。決して速くはないけど、歯切れのいいVツインの鼓動がお気に入り、別のバイクを買入後も捨てられずにいた。で、今回、環境の変化と陽気のよさにも誘われ、ひさびさに乗りたい衝動に駆られてしまったというわけなのだ。エンジンだけは定期的にかけていたので、問題なく一発で目覚めた。さっそく嬉々として走り出してみた、のだから……！！明らかに力がない……。以前よりスロットルを開けないと加速しないし、なにしろひとつひとつの爆発に元気がない。それは素人の感覚でも明らかにわかるレベル。うむ、隠しすぎて威力をなくしてしまったか……。以前の元気な感覚が体に残っているだけに、だままだまし乗るにはムリがあるし、なにせストレスがたまりそうだし。とはいえず、エンジンオーバーホールという大きな（費用のかかる）ことまではやりたくはない。そう悶々としていたところ、気になる再生

法を見つけてしまった。それがニューテックの「パワーアッププログラム」だ。ニューテックと言えば、JSBで活躍中のF.C.C.TSR Hondaが使用するなどレース現場で実績のあるブランド。今回実施するのは、ケミカル剤を用いた内容になる。ケミカルと聞くと、つい「添加するだけで○馬力アップ！」的ないかがわしいものをイメージしがち。正直私もまゆづばものに思っていたが、その考え方はいたって健全。人間で言うところの「デトックス」（浄化）であり、パワーアップとは言うものの「最適な燃焼状態に近づける」のが目的という。今回は、洗浄、クリーニング、コーティングの3つを実施。詳細は上の経過を見てほしいが、先に結論を言えば、「激変」と言える変化を見せたのだ。ウソのようになかった圧縮が、ウソのように復活。それは数値だけではなく、十二分に体感できるもので、これまでの息苦しさとはまったく違う「鼓動」がよみがえった。小さなスロットル開度でも心地よいパルスが感じられるようになり、これは結果的に燃費の面でも奏功しそうだ。まさに22年目の春。この経過はまた次回（9月号）でお伝えしたい。



前後1400kpaの同数値に
 ●前が上がったのはピストンリングの動きがよくなったため、後ろが下がったのは堆積したカーボンが落ちたためと考えられる



●点火プラグを外し圧縮圧力回復剤を注入。熱に反応して形成されるミクロの膜が、シリンダー表面やピストンリングの透き間を埋める



1650kpaまで復活！
 ●一同おおっ！のコンプレッション完全復活。もちろん前後とも同数値だ



●プログラム施工後はコーティング剤を安定させるため、100kmほどエンジン回転を抑えた慣らし運転が必要。圧縮効果は通常の走行で2万kmは持続するという

備えあればのオーバーヒート対策

●熱によるトラブルを未然に防ぐために、より熱吸収放熱性の高いクーラントを入れることは効果大。冷却水としては高めの価格だが、強力な気泡抑制効果を持ち熱交換性に優れるのだ。ZZ-91RC（2ℓ）3570円

取材協力 秋葉モーターサイクル
 神奈川県大和市下鶴間2782 ☎046-274-8198
<http://www.akibamc.net/>
 メーカー種類を問わず修理からカスタムまで幅広く対応してくれる、頼れる街のバイク屋さん。その仕事ぶりはていねいで確実。社長の秋葉康一郎さんは週末には足しげくサーキットに通う快速ライダーだ。

